

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月24日

計画の名称	吹田市下水道 安心・安全のまちづくり（重点計画）（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度 ～ 平成32年度（3年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	吹田市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,904	A	2,904	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)
1	川面処理区浸水被害軽減総合事業に位置付けたハード対策（既往最大降雨）のうち寿片山幹線の整備率を0%（H30）から100%（H32）に向上させる。 計画期間内の川面処理区浸水被害軽減総合事業におけるハード対策（既往最大降雨）の幹線整備率（%） 計画期間内の浸水被害軽減対策の幹線整備済み延長（km） / 計画期間内の浸水被害軽減対策の幹線整備延長（km） ※計画期間内の幹線整備延長：L=2.7km	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H30	H31	R02	R03	R04					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	管渠（ 合流）	新設	川面処理区 下水道浸水 被害軽減総合事業（H28～ H35）	合流管Φ2800mm L=2,703 m	吹田市	■	■	■			2,904		策定済		
		下水道浸水被害軽減総合計画																			
													小計					2,904			
													合計						2,904		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

吹田市下水道部で評価し、下水道部ホームページにて第三者の意見募集を行った。

事後評価の実施時期

令和4年3月

公表の方法

吹田市下水道部経営室ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

本計画に基づき交付金を充当したことにより、継続的な事業執行が出来た。継続的な事業執行により、当該地域の浸水被害の早期軽減に寄与する。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

市内の浸水被害軽減に向けて、事業計画に基づく必要な対策を進めるとともに、気候変動の影響や雨水管理総合計画の策定など、全国の動向を踏まえた検討を進めていく。今後も、快適な暮らしの実現、良好な環境の創造に向け、公共下水道事業を推進していく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	寿片山幹線整備率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%